札幌市立手稲中学校
学校だより

いぶき

令和８年（2026年）
4月8日　No．1

新年度の始まりにあたって

校　長　　原　田　　　格

春のやわらかな日差しが感じられる頃となり、手稲の地にも新たな息吹が広がっています。新年度の始まりにあたり、お子様のご進級、誠におめでとうございます。

さて、本校は本年度、開校80年の節目を迎えます。明日の入学式では新入生212名を迎え、全校生徒657名で新たな一年が始まります。長い歴史と伝統を大切にしながら、これからの時代を生きる子どもたちに必要な力を育む教育を、教職員一丸となって取り組んでまいります。

本校では、「美しい心」「たくましい身体」「みがかれた知性」を学校教育目標に掲げ、知・徳・体の調和のとれた生徒の育成を目指しています。この目標は、時代が変化しても変わることのない教育の基盤であり、現代を生きる子どもたちにとってますます重要となっています。とりわけ、多様な価値観をもつ人々と共に生きるこれからの社会においては、互いを尊重し、支え合う姿勢が大切であると考えています。

このことから、本年度も、「美しい心」の育成を重点として教育活動を推進してまいります。昨年度に引き続き、「美しい心プロジェクト」を軸に、あいさつや合唱活動、日々の授業や学校行事など、あらゆる教育活動を通して、生徒同士が認め合い、思いやりをもって関わり合う関係づくりを進めていきます。

また、札幌市の教育が大切にしている「包摂（ほうせつ）」の考え方を踏まえ、すべての子どもに寄り添い、誰一人取り残さない教育の実現に努め、生徒一人一人が「自分が大切にされている」と実感できる学校づくりを目指します。

学びの面では、課題探究的な学習と自治的な活動を両輪とし、生徒が主体的に学び、考え、行動する力の育成を目指します。自ら課題を見いだし、仲間と協働しながら解決していく学びと、自分たちの学校生活をよりよくしていこうとする主体的な取組を通して、これからの社会を生きる力を育んでいきます。

さらに、コミュニティ・スクールは導入2年目を迎えます。本年度は、これまでの取組を基盤としながら、家庭や地域の皆様との連携を一層深め、「地域とともにある学校づくり」を進めてまいります。パートナー校との小中一貫した教育の充実を図るとともに、地域の力を生かした教育活動を大切にしてまいります。

私たち教職員は、生徒一人一人のよさや可能性を大切にし、その声に真摯に耳を傾け、安心して学び、成長できる環境づくりに努めてまいります。

保護者の皆様におかれましては、本校の教育活動に対し、引き続きご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。